

進路だより —それぞれの夢に向かって—



微笑む進路 MUHS 進路指導部

第9号

13. 1. 15



進路だよりはイチゴの日

1月下旬までの主な学校行事・進路関係 (1/15 ~ 1/30)	
1月18日(金)	3年生(1, 2限授業・3限合同HR・4限教室整備) 3限センター試験直前注意②(視ホール) 1, 2年4時間授業・教室整備 完全下校 14:00
19日(土)	大学入試センター試験 (男子→立教大学新座キャンパス 女子→十文字学園女子大学会場)~20日(日) 1, 2年センター問題演習(希望者) 中学校適性検査II
21日(月)	3年生センター試験自己採点(午後~ 二者面談等)
22日(火)	3年午前中授業(①②③④)~23日
23日(水)	1年生実力テスト
24日(木)	3年生臨時休業 教員対象センター試験データ分析会(各予備校主催・午後)
25日(金)	3年センター試験後説明会(1限視ホール)2限LHR センター試験リサーチデータ返却・3限~ 二者面談(~29日)
28日(月)	2年生実力テスト(7, 8限) 3年生①②③授業 4限~二者面談
29日(火)	3年学年末考査 終了後合同総合(視ホール) 2年生実力テスト
30日(水)	3年生家庭研修開始

【3年生へ】 いよいよ19日は、センター試験1日目です。

- ① 会場は、男子 **立教大学 新座キャンパス** (武蔵野線 新座駅・東武線 志木駅)
女子 **十文字学園女子大学** (武蔵野線 新座駅)
- ② 受験票・写真票の写真欄に同じ写真を貼り自署欄に署名して持参します。
- ③ 心穏やかに過ごす。→ いらいらしたり、気持ちが不安定では結果が出ません。

< センター試験までにもう一度確認しておきましょう >

- (1) 過去の模試などで、あいまいだった問題をもう一度見ておきましょう。
良問や自分が不得意な分野は、入試で再び目にする可能性が高いようです。
- (2) 鉛筆のマークに慣れておきましょう。
→模試ではシャープペンですが、本番は「鉛筆」です。
- (3) 時間配分の感覚（早め）をもう一度頭に入れましょう。
→センター試験は「時間」が勝負！
- (4) 1日目の最初の試験 → 登録した科目数により開始時間が異なります。
→2科目登録の人は、9：05までに入室です。
- (5) マークミスをしないように頭の中で「イメージトレーニング」を。
→問題冊子には必ず解答した答えの番号を忘れないようにしましょう。
解答科目にマークしないと0点、地歴ではA・Bの区別、数学ではI・II A、II・II Bの解答の区別も忘れないようにしましょう。
- (6) 7割以上の確保を。→ 目標は「満点」ではなく大事なものは「得点率」です。
→得意な科目はもちろん、不得意科目でも諦めずに最後まで受験しましょう。
- (7) 6教科7科目の中で少しでも必要な科目はしっかり受験しよう。
→体力・気力を支えてくれるのは、「友人」と「志望校への熱い思い」です。
登録した科目を全て受験すると救われる可能性が高いです。
- (8) 試験本番は2日とも9：30から開始です。朝型の学習習慣を確立しましたか。
→朝食（牛乳でも何でも良い）をとり、朝から体を目覚めさせましょう。
- (9) 試験当日の過ごし方も考えておきましょう。（待ち時間は意外と長いですよ）
→気分転換 OR 最終チェック OR おしゃべり？
昼食・おやつ・友人との語らいが一番気持ちを保つ上で大切になります。
試験が終わっても落ち込まず、次の科目に集中することです。
- (10) センター中はもちろん絶対に風邪などひかないように「努力」していますか。
→風邪対策には手洗い、うがい、マスク、加湿が基本です。
野菜を食べましょう。（大根・カボチャ・白菜・小松菜・納豆・ネギなど）
- (11) 最後の最後は「自分を信じる」ことです。悔いのない受験をしましょう。



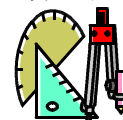
3 教科についてのアドバイス (過去の記事より)



<英語>

センター試験では長文の配点が高い。長文問題を解くにあたって、全文を読み終えてから設問にかかるのも一つの方法だが、1～2段落読んだらすぐ設問に取りかかってもいい。特に内容把握のために再度英文を読み直すのは時間の無駄、80分という限られた時間を有効に使うことが大切だ。とにかく過去問演習により自分に合った解答方法を確立すること。

アクセント問題のチェック(外来語等)、過去問演習は時間配分と問題形式に留意、長文の復習で語彙力アップを図る。



<数学>

60分で問題を解ききる練習を繰り返すこと。マークシートがあれば実際に塗ってみるとよい。制限時間内に解けなかった問題も解答・解説をよく読んで解いておく。頻出の基本事項・公式もしっかり確認。そして、正確で早い計算力を身につけておくこと。



<国語>

現代文：

過去問を演習する際、2つのポイントがある。①制限時間を設け、かつ、根拠をもって解答すること。②解いた後、単なるマルつけで終わらせず、解いたプロセスを確認すること。同音異義語・難読語の訓読み、熟語や慣用句の意味のチェック。読むスピードの遅い人は、読みながら設問を解くことで時間の短縮を心がける。

古文：

設問は大半が読解に関わるものなので、まず本文の内容を短時間で大きくつかむ事が大切だ。その上で各設問の選択肢と該当する本文の箇所を慎重に対応させながら正解を絞り出す。出題のポイントさえ的確に見抜ければ、選択肢の文章は長めでも判別は容易だ。基本単語の意味は最後まで念入りにチェックしよう。

【最後に】

今年のセンター試験は、平均点アップが2年連続となり過去に3年連続そういう傾向が続いていないことから平均点の低下が予想されています。しかし、昨年も平均点ダウン確実と見られていましたが、平均点は上がりました。昨年末に実施されたセンタープレの問題は、予備校生に向けて気を引き締めよう OR 自信をつけさせようというメッセージも含まれているものです。ですからセンタープレの成績が良かった OR 悪かったからといって現役が動揺することはありません。あくまでも「本番」です。先入観を持たずに冷静に試験に臨みましょう。

【 2年生へ 】 2014年1月18, 19日がセンターです。

2年生は、センター試験まで1年となりました。3年生の4月から準備を始めると9ヶ月になります。センター試験に向けて特別な勉強は必要ありませんが、センター試験を「意識」して勉強していくことが大切です。そのためには、…



① 志望大学・学部・学科を決める。

すでに昨年の夏休みにオープンキャンパスへ参加して志望校を決めている人もいますが、3年生前の春休みや、3年生の夏休みにも大学が主催する説明会やオープンキャンパスを利用していきましょう。志望校を決めるメリットは、受験勉強を続けていく上でのいい「刺激」を得ることです。目標がない勉強はどうしても「苦行」になってしまいます。先輩が書いた「合格体験記」をもう一度見てみましょう。

② 今年のセンター試験の入試問題を実際に解いてみる。

センター試験の問題には、難問や奇問がありません。そして、知識の丸暗記だけでも通用しません。大切なのは、本物のセンター試験を体験することです。予備校などが主催するセンター試験についての企画に参加したり、新聞に載った問題を解いてみましょう。そして1/28・29に実施する実力テストを真剣に受験しましょう。

③ 3学期の授業・学年末考査をがんばる。

現在2年生は、3月に実施される学年末考査で、2年次の成績が確定します。3年生になって指定校推薦や国公立大学等の公募推薦入試を受験しようと思っている人は、1, 2年次の成績と3年生の1学期の成績（全教科・科目の成績を加えて合計数を出し、その数を科目数で割ったもの）で決まります。今現在、推薦を考えているかどうかは別にして、なるべく評定平均を4.0以上にする努力をしましょう。学校の成績が良い人は受験でも健闘していることは過去の先輩の例からも明らかです。

【 1年生へ 】



1年生にとってセンター試験はまだ「遠い先の出来事」だと感じられますが、日々の授業の理解が「センター試験対策」だと「意識」して授業や定期考査に臨むことです。センター試験では「丸暗記」タイプはうまくいきません。教科書の内容を理解して覚えることが大切です。また、1年次の成績が確定する学年末考査で結果を残す、1/23の実力テストを真剣に受験したり、2年の夏休みに参加するオープンキャンパスを前に志望大学・学部等について、昨年行われた先輩による進路講演会や「進路資料集」を参考にして考えていきましょう。